

中山間地域総合整備事業〔集落型事業（生産基盤型事業）〕

# 土地改良事業（変更）計画概要書

（ 農業用排水施設 ）

県	名	岩	手	県
地	区	市	野	々
所	在	一	関	市
事	業	岩	手	県
	主			
	体			

# 土地改良事業計画概要書

## — 目 次 —

第1章	目的	1
第2章	地域の所在及び現況	1
第1節	地域の所在	1
第2節	現況	2
第3節	水利状況	4
第4節	営農の状況	4
第5節	地域環境の概況	5
第3章	基本計画	6
第1節	計画の要旨	6
第4章	工事又は管理の要領	7
第1節	工事の施工計画	7
第2節	管理の要領	7
第3節	予定工期	7
第5章	換地計画の要領	該当なし
第1節	換地計画樹立の必要性	該当なし
第2節	換地計画樹立の基本方針	該当なし
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積	該当なし
第4節	非農用地の換地方法	該当なし
第6章	費用の概要	10
第7章	効用	11
第8章	他の事業との関係	11
第9章	計画概要図	11

## 第1章 目的

上段：変更後  
下段：変更前

本計画地域は、岩手県の最南端の一関市中心部より西方10kmの一関市萩荘に位置し、地区の西側に連なる須川岳（栗駒山）をはじめとする奥羽山脈の裾野に広がる丘陵地帯である。地区内には、一級河川久保川、一級河川市野々川、一級河川栃倉川及びその他複数の河川が流れ、また、国道457号と県道本郷・五串線が走り、各河川沿いに形成された松原、市野々の集落からなる水田地帯である。

本地区は、団体営土地改良事業市野々地区及び団体営土地改良事業松原地区で整備し、30a区画となっている。

地区内の水路は、一部土水路であるが、大部分がコンクリートフリーム及びコンクリート柵渠で装工されているものの老朽化による劣化が著しく、用水路の目地からの漏水や排水路の柵渠の倒壊による土壌の浸食等が生じ、水管理の負担の増加、及び水路の補修・更新などの維持管理費の増加が地区の問題となっている。

以上の問題を解消するために、用排水路の更新整備を行い、水管理及び維持管理の負担を軽減し、営農意欲の向上と担い手の育成、確保につなげ、農業経営の安定化を図るものである。

### 地 積

(単位：ha)

現況地目 市町村名	水 田	普通畑	樹園地	計	道水路等	その他	合 計
一関市	75.6	〃	〃	75.6	〃	〃	75.6
	75.7	—	—	75.7	—	—	75.7

## 第2章 地域の所在及び現況

### 第1節 地域の所在

岩手県 一関市 萩荘地内

第2節 現 況

上段：変更後  
下段：変更前

第1項 地形及び地質、土壌

本計画地域は、一関市西部の中山間地域に位置する。勾配は1/126程度の傾斜を成しており、標高は60m～150mである。

母材は、非固結火成岩及び非固結堆積岩で、堆積様式は水積である。土壌は、強グライ土壌強粘土還元型（D30）、黄褐色土壌強粘土型（I81）からなる。

第2項 気 象

(1) 一般気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版 P108～P109)

観測所名	一関気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	H20～H29年	5月～8月	9月～4月		
平均気温(℃)	20.8℃	7.3℃	11.8℃		
降水量	平均(mm)	501.1mm	678.0mm	1,179.1mm	
	基準年(mm)	—mm	—mm	—mm	
降水日数	平均(mm)	42日	75日	117日	
	基準年(mm)	—日	—日	—日	
根雪期間	—月—日	—月—日	—日間		
無霜期間	4月28日	10月31日	187日間		
最多風向	NNW	最大風速 (風向)	10.7 m/s (NNW)	最多風向発生時期 9月～5月 最大風速発生年月日 平成28年12月2日	

※ 最大風速のデータは気象庁のホームページによる。

(2) 特殊気象

上段：変更後  
下段：変更前

（計画樹立参考資料 平成 31年3月版 P94～P95）

観測所名	1位			2位			3位			4位			5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
一関気象観測所																
観測期間 〃 〃 M34年～H29年																
最大日雨量 (mm)	〃 285	〃 S22 7/22	〃 —	〃 246	〃 S23 9/16	〃 1/845	〃 212	〃 M42 8/28	〃 1/365	〃 153	〃 S61 8/5	〃 1/41	〃 153	〃 S43 8/11	〃 1/41	
最大時間雨量 (mm)	〃 49	〃 H6 8/19 15	〃 1/60	〃 45	〃 S48 6/20 17	〃 1/32	〃 43	〃 H2 10/26 14	〃 1/24	〃 41	〃 H17 8/14 18	〃 1/17	〃 40	〃 H3 8/31 13	〃 1/15	
最大4時間雨量 (mm)	〃 89	〃 S41 9/25 8	〃 1/34	〃 87	〃 H14 7/11 8	〃 1/29	〃 87	〃 S43 8/11 24	〃 1/29	〃 86	〃 S33 8/18 14	〃 1/27	〃 83	〃 H25 7/26 18	〃 1/22	
最大3日連続雨量 (mm)	〃 318	〃 S22 7/22	〃 1/872	〃 236	〃 M43 8/15	〃 1/89	〃 223	〃 H14 7/11	〃 1/61	〃 212	〃 M42 8/28	〃 1/44	〃 205	〃 S33 7/24	〃 1/36	
最大連続早天日数 (mm)	〃 41	〃 S21 7/14	〃 —	〃 40	〃 S48 6/24	〃 —	〃 35	〃 S13 7/26	〃 1/392	〃 32	〃 S2 7/31	〃 1/94	〃 31	〃 S39 7/20	〃 1/62	

上段：変更後  
下段：変更前

### 第3節 水利状況

#### 第1項 用水状況

〃

水源は、一級河川久保川、一級河川市野々川、普通河川藤沢川であり、大堰頭首工、松原頭首工、焼切頭首工より取水されているが、堂ノ沢ため池、本郷ため池、八瀬ため池からも取水している。水路は、コンクリートフリーフォームで装工されているが、老朽化による劣化が著しく、目地からの漏水もあり、補修・更新を行うなど、水管理や維持管理費に多大な労力を費やしている状況である。

#### 第2項 排水状況

〃

排水は、用水と分離されており、地区内の水路を経て、一級河川久保川、一級河川市野々川へ自然排水される。水路は、コンクリート柵渠又は土水路となっており、柵渠の倒壊や土羽の崩壊が多数に見られる。柵渠の更新や土砂上げ等の維持管理に多大な労力を費やしている状況である。

### 第4節 営農の状況

#### 専業別農家数及び平均経営耕作面積

〃  
H27農林業センサス

戸数		項目	専業	第一種 兼業	第二種 兼業	計	一戸当たり 平均経営 耕地面積	田	普通畑	その他	計	地域指定等
								ha	ha	ha	ha	
専業別	一関市	戸数	〃 1,733 戸	〃 801 戸	〃 5,261 戸	〃 7,795 戸	〃	〃 1.1 ha	〃 0.2 ha	〃 0.2 ha	〃 1.5 ha	〃 振興山村地域 S45年度
		割合	〃 22.2 %	〃 10.3 %	〃 67.5 %	〃 100 %		〃 74.2 %	〃 10.7 %	〃 15.1 %	〃 100 %	〃 農業振興地域 S48年度
	本地区	戸数	〃 20 戸	〃 11 戸	〃 71 戸	〃 102 戸		〃 0.74 ha	〃 — ha	〃 — ha	〃 0.74 ha	〃 果樹濃密 H2年度
		割合	〃 19.6 %	〃 10.8 %	〃 69.6 %	〃 100 %		〃 100 %	〃 — %	〃 — %	〃 100 %	〃 酪農肉用牛 H13年度 野菜指定産地 S45年度

上段：変更後  
下段：変更前

経営農用地広狭別農家数

H27農林業センサス

区 分	農 家 総戸数	経営農用地広狭別農家数									耕地の分散状況		一戸当たり 平均耕地面積
		0.5ha 未満	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha ～ 5.0ha	5.0ha ～ 10.0ha	10.0ha 以上	自給的 農家	一戸当たり 団地数	団地当たり 面 積	
〃 一関市	〃 11,352	〃 1,637	〃 2,615	〃 1,437	〃 752	〃 656	〃 384	〃 225	〃 89	〃 3,557	〃 -	〃 a -	〃 a 101

#### 第5節 地域環境の概況

〃

地域では、水田や水路が隣接して、水路付近には、スナヤツメ等の魚類や、カワニナ等の貝類、アマガエル、トノサマガエル等の両生類、サシバ等の鳥類、オニヤンマ、クロイトトンボ等の昆虫類の生息が確認されている。

また、植物では、キキョウ、オミナエシ、ノダイオウ、オオニガナが生育している。

地域ではそれらの生態保護に配慮し、隣接する森林などの水源地の保全、ため池や用排水路の維持管理に取り組んでいる。

### 第3章 基本計画

上段：変更後  
下段：変更前

#### 第1節 計画の要旨

本計画において、用排水路の更新整備を行い、水管理や維持管理の負担を軽減し、営農意欲の向上と担い手の育成、確保につなげ、農業経営の安定化を図るものである。

事業計画一覧表

種 別	事 業 量	摘 要
用排水整備	13,603 13,455 m	小用水路 BF300～BF600
	7,698 7,557 m	小排水路 鉄筋コンクリート排水リユーム HF300×300～HF1500×900

#### 第4章 工事又は管理の要領

##### 第1節 工事の施工計画

1. 工事は、全て県営事業により請負工事とする。

2. 施工は、農業土木工事共通仕様書による他、特記仕様書による。

##### 第2節 管理の要領

施工後の諸施設の管理は、市野々土地改良区が行う。

##### 第3節 予定工期

令和7年  
平成25年～令和5年

#### 第5章 換地計画の要領

##### 第1節 換地計画樹立の必要性

該当なし

##### 第2節 換地計画樹立の基本方針

###### 第1項 従前地の地積の基準

該当なし

上段：変更後  
下段：変更前

第2項 農用地集団化の方針 該当なし

区分 換地区	地帯別グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当り目標団地数	区画畦畔の取り扱い

第3項 清算の方法

該当なし

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

該当なし

(単位：ha)

用途	公用公共用地				一般国有地	合計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
計						

第4節 非農用地の換地方法

//  
該当なし

上段：変更後  
下段：変更前  
(単位：㎡)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得 予定者	その他
	計						

上段：変更後  
下段：変更前

第6章 費用の概要

単位：千円

事業名	総事業費		負担内訳				備考
	費目	金額	国費(55%)	県費(30%)	地元負担(15%)		
					市町村(10%)	農家(5%)	
中山間地域総合整備事業 〔集落型事業(生産基盤型事業)〕  (農業用排水施設)	事業費	932,000 810,000	512,600 445,500	279,600 243,000	93,200 81,000	46,600 40,500	
	費目	金額	国費(0%)	県費(100%)	地元負担(0%)		
					市町村(0%)	農家(0%)	
	工事雑費	〃 -			〃 -		
	事務費	〃 -			〃 -		
計	932,000 810,000	512,600 445,500	279,600 243,000	93,200 81,000	46,600 40,500		

上段：変更後  
下段：変更前

### 第7章 効用

区 分 \ 項 目	全 体 (千円)		農業用排水施設 (千円)		備 考
	便 益 額	所 得 額	便 益 額	所 得 額	
農業生産向上効果 (作物効果)	32,303	〃	32,303	〃	
	25,938	—	25,938	—	
農業経営向上効果 (営農経費)	25,642	40,700	25,642	40,700	
	19,006	24,755	19,006	24,755	
農業経営向上効果 (維持管理)	△ 2,037	18	△ 2,037	18	
	△ 1,552	△ 45	△ 1,552	△ 45	
生産基盤保全効果 (更新効果)	〃	〃	〃	〃	
生活環境整備効果 (非農用地等創設効果)	—	—	—	—	
農業の持続的発展に関する効果 (耕作放棄防止効果)	〃	〃	〃	〃	
その他効果 (国産農作物安定供給効果)	7,030	—	7,030	—	
(文化財の調査に関する効果)	—	—	—	—	
合 計	62,938	40,718	62,938	40,718	総費用総便益比= 1.57
	46,936	24,710	46,936	24,710	1.49

### 第8章 他の事業との関係

〃  
該当なし

区分	事業名	事業主体	受益面積	工 期	事業費 (百万円)	前年度までの 進 捗 率	事業との関連

### 第9章 計画概要図

別 添